

(表)

稲敷市教育委員会

稲敷市ヨアトミ奨学生願書					
ふりがな	いなしき いちこ	生年月日	年齢	性別	貸与希望期間
氏名	稲敷 一子	平成〇年〇月〇日	22歳	女	令和〇年 4月から 令和〇年 3月まで
希望月額	100,000円				
在学学校	東京〇〇学校・ 大学 大学大学院 工学部 工学科 第4学年				
所在地	東京都〇〇区〇〇1-1-1			電話	03-xxxx-xxxx
本人現住所	東京都〇〇区△△2-2-2				
家族住所	稲敷市 犬塚xxxx-xx			電話	xxxx-xxxx-xxxx
家計内容	給与収入		※営業等・農業・不動産・利子・配当・年金 所得金		
	年収 (税込で賞与・諸手当含む)	9,200,000円	所得	所得	
	合計	9,200,000円	合計	円	
家族の状況	氏名	続柄	職業	勤務先	年収(税込)
	稲敷 太郎	父	会社員	〇〇建設(株)	5,400,000円
	花子	母	会社員	(株)△△商事	3,800,000円
	一子	本人	大学院生	〇〇大学大学院 1年	
	二郎	弟	中学生	〇〇中学校 2年	
家族学経資営金状希望及理由	(本人が具体的、かつ、詳細に記入してください)				
健康診断	既往症				
	病名	(歳)	発病	年 月 日	
			全快	年 月 日	
	最近の健康状態(医師の所見) ※医師に記入してもらう				
	判定 就学は(可能・要注意・不可能)である。 年 月 日				
					医師 (印)

※健康診断の項目については、在学する学校で行った直近の健康診断書の写しの添付でも可。

(裏)

本人の履歴	平成〇年 3月	江戸崎中学校 卒業				
	令和〇年 3月	茨城県立〇〇高等学校 卒業				
	令和〇年 3月	東京〇〇大学 卒業 見込				
月平均所要経費	収入の内訳		支出の内訳			
	家庭から	100千円	食費	30千円	授業料	50千円
	内職・定職から	千円	住居費	50千円	学校納付金	50千円
	その他(奨学金)	100千円	交通費	10千円	その他	千円
	計	200千円	学用品費	10千円	計	200千円
以上のおり記載に相違ありません。 奨学生として採用のうえ稲敷市ヨアトミ奨学資金を貸与されるようお願いいたします。 なお、採用のうえは、稲敷市ヨアトミ奨学資金貸与の規定に従い、奨学生としての責務を果たすことはもとより、稲敷市ヨアトミ奨学資金の返還その他の義務についても、両名連帯の責任を負うことを誓約いたします。 令和〇年 〇月 〇日						
			本人	ふりがな 氏名	いなしき いちこ 稲敷 一子	
			連帯保証人	ふりがな 氏名	いなしき たろう 稲敷 太郎	
			現住所 続柄	稲敷市犬塚×××-×× 本人の(父)		
稲敷市教育委員会教育長 様						

(記載上の注意)

- ※印のところは、該当するものを○で囲むこと。
- 家計内容は、家族全員の収入をできるだけ詳細にありのまま記載し、主たる家計支持者1人について前年の収入を証明する書類を添付すること。
- 家族の状況のうち、続柄の前に家計支持者に○印、別居者に×印をつけること。
- 家族経営状況及び稲敷市ヨアトミ奨学資金希望理由は、具体的、かつ、詳細に記入のこと。
- 健康診断は、稲敷市ヨアトミ奨学資金貸与希望者の最近の健康状態を医師に診断してもらうこと。ただし、在学する学校での直近の健康診断書の写しでも可とする。
- 本人の履歴は、休学・転学・退学・身分の異動等も理由を付して漏れなく記入のこと。
- 月平均所要経費のうち、自宅通学者は食費・住居費を記入しないこと。ただし、家計の一部を負担している者は、その額を食費・住居費にあん分して記入のこと。(収入の計と支出の計は一致すること。)
- 連帯保証人は、独立の生計を営む父母兄弟又はこれに代わる者(本人が未成年者であるときは、親権者又は未成年後見人)で、将来稲敷市ヨアトミ奨学資金返還の責務を負う者であること。
なお、出願の際は連帯保証人1人でよいが奨学生として採用されたときは、更に別の保証人1人を要するから、あらかじめ考慮しておくこと。
- 所定欄に記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。